

# 生活科の実践

札幌市

生活科

2年

生き物の飼育から、気付きを蓄積する！

## ザリガニさんと なかよし

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>

この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます



### 単元の概要 と 単元構成

内容（2）（7）（9）にかかる単元です。生き物の飼育を通して、自分の手元に置いて育てる喜び、形態、生態から見つける疑問や気付き、生命の大切さ、生命の連續性に対する認識、感動といった体験をさせることができます。

毎日毎日お世話をしてることで、子どもたちはどんどんザリガニと仲良くなっています。

### 学習活動の流れ（12時間）

交尾、脱皮、生命の連續性を考えることができます。  
死については、原因を探りながらも、  
慎重に対応していきます。

かかわりたいと  
いう気持ちを大  
切にしていきま  
す。

直感で行動する  
こともあるの  
で、よいところ  
をみつけたら、  
「今のメモして  
おいてね」など  
と記録を促しま  
す。

#### ザリガニさんがやってきた！くわしくなろう（4）

- ・えさは？ おす？ めす？ すみかは？
- ・けんかはしないの？ たまごって？
- ・たくさんわかったよ。掲示板で交流しよう
- ・交尾 脱皮 死
- ・それぞれいみがあるんだね
- ・もっとくわしくなりたいな

#### 夏休みの飼育について話し合おう（2）

- ・頑張ってお世話をしよう

#### 子ザリが大きくなってきたよ！（2）

- ・かわいいな なんぴきいるのかな
- ・詳しくなってきた！みんなに見てもらいたいね

#### ザリガニ飼育ブックを作ろう（2）

- ・カードや掲示板みて！ どんなことを？
- ・しらせたいことがいっぱいだよ

#### 自分とザリガニの物語を残そう！！（2）

- ・思い出いっぱいだね なかよくなったよ
- ・いろいろなことがわかったよ

ザリガニの飼育から、気付きの力と工夫する態度を育てる学習です。動物や植物とのふれあい、かかわり合う機会が乏しい今だからこそ、生活科での経験は、子供の自立に大きな意味をもつと考えます。



上手につかめました

## 教材・活動の Point!



### 1. 出会いは大切、無理せず、楽しく

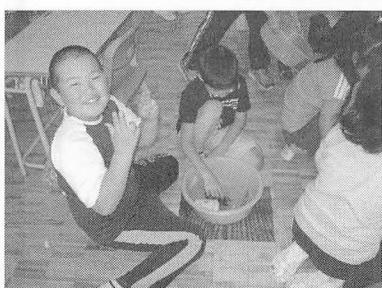
動物をさわれない子どもはたくさんいます。さわれた、楽しそう、こつがわかったといった、小さな喜びを大切にすることで思いを広げ、期待感につながります。ザリガニを人格化することもあります。資料については、数に限りがあるので生活科の教科書を共通に使用しました。

### 2. 成長を楽しむ→記録を続ける

毎日のお世話は、大変です。同じ活動が続くので、停滞もします。初めはみんなで飼っていたザリガニですが、新しい命の誕生から、一人一匹の飼育になりました。自分のになると、また活動も楽しくなってきます。毎日少しでも、または、一瞬の感動を短い言葉でもよしとして、記録させていきました。



### 3. 気付きの蓄積を表現の工夫へ



最初は、自分自身のための表現活動ですが、次に相手を意識した活動へと質的な変換を図ります。

子どもは、直感的に行動することが多いので、言葉を意識しないで活動することがあります。教師がかかわって、記録をしていくことも大切です。